

長岡花火

新潟県長岡市



写真 正三尺玉

長岡市内の梵鐘ぼんしょうが響く中、直径約 650m にも及ぶ日本最大級の花火が夜空に開く。1945（昭和 20）年 8 月 1 日、長岡空襲の始まった時刻の午後 10 時 30 分に合わせ、毎年打ち上げられる慰霊の花火「白菊」しょうきんじやくだま正三尺玉三連発である。一発目は慰霊をイメージし、白を基調とした「慰霊」、二発目は人々の結束をイメージし、小さな花火が集まって一つの花火を作り出す「復興」、三発目は地上まで垂れ下がり永遠に平和が続くようにと願いが込められた「平和」…戦災殉難者への慰霊と平和への願いを込め、長岡まつりのオープニングイベントとして開催される「平和祭」の日に打ち上げられる。この三連発は、翌日からの「長岡大花火大会」の最初にも打ち上げられ、花火大会に込めた想いが伝えられる（写真）。

また、花火大会で見どころの一つとなっている「復興祈願花火『フェニックス』（表紙写真^{※1}）」。2004（平成 16）年 10 月 23 日に発生し甚大な被害をもたらした中越大地震の翌年、復興の願いをのせ打ち上げられたのが始まりで、長岡が不死鳥のように蘇ることへの願い、全国からの支援への感謝が込められている。

長岡花火に込められた想いは、時を重ねてもなお変わることなく、今を生きる人々に受け継がれている。

※）表紙写真 写真提供：ピクスタ w-ken0510 / PIXTA（ピクスタ）

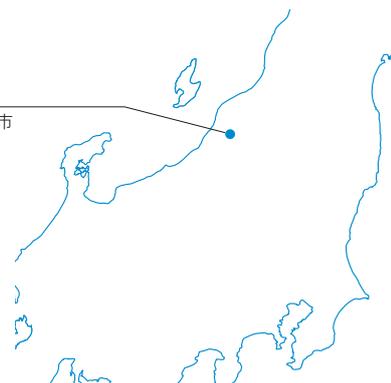
■アクセス

- JR 長岡駅から徒歩約 30 分
- 関越自動車道長岡 IC から約 15 分

（表紙の写真）

長岡花火

場所：新潟県長岡市



<参考>

一般財団法人 長岡花火財団

<https://nagaokamatsuri.com/>